MITSUBISHI

0806870HN2002

小口径ダクトシステム部材
給排気グリル（2方向吹出し）
形　名

P-05GLD
P-05GLD-BE

取付工事・取扱説明書

この給排気グリルは三菱小口径ダクトシステムの給排気口に取付けて使用するものです。

■取付工事を始める前に、この説明書をよくお読みになり正しく安全に取付けてください。
■取付工事は販売店･工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

指示に従い必ず行う

- **取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う**（落下によりけがをすることがあります）
- **グリルの取付けは確実に行う**（落下によりけがをするおそれがあります）
- **取付けやお手入れの際は、手袋を着用する**（着用しないとけがをすることがあります）

取付け前のお願い

●このグリルは、吹出し温度が周囲の空気の露点温度より3℃以上下回るとフレーム、ジョイントダクトの表面に結露が発生します。結露が発生する条件で使用する場合は、フレームとジョイントダクト部を市販の断熱材で断熱ダクトと同等の断熱をしてください。

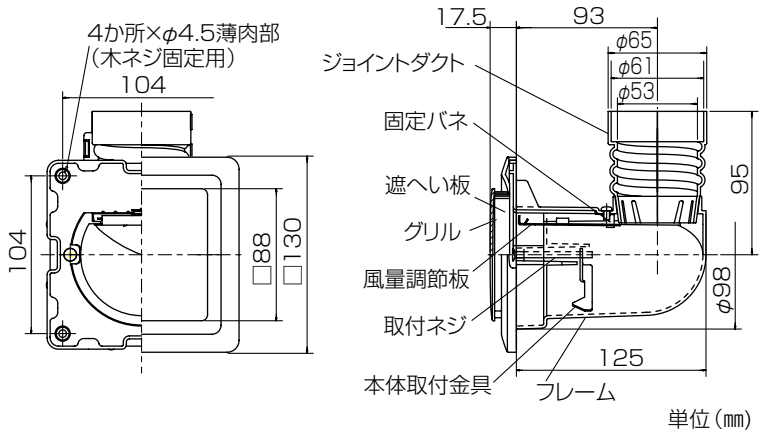
●ロスナイセントラル換気システムの室内側給気口として使用する場合
ロスナイ換気ユニットの温度交換効率から吹出し温度を算出し、【周囲露点温度−3℃】より高くなることを確認してください。
室内吹出し温度の求め方
■冬期（暖房時）
室内吹出し温度＝（室内温度（℃）−外気温度（℃））×温度交換効率+外気温度
［例］室内温度20℃　外気温度−10℃　温度交換効率70%の場合
室内吹出し温度＝（20℃−（−10℃））×0.70+（−10℃）＝21−10＝11℃
室内温度20℃、室内湿度60%RH（露点温度12℃）の場合、室内吹出し温度11℃は【露点温度−3℃＝9℃】より高いため使用可能となります。

●熱交換せずに直接外気を給気するグリルとして使用する場合
冬期に結露が発生するおそれがあります。フレームとジョイントダクト部を市販の断熱材で断熱ダクトと同等の断熱をしてください。給気温度が−5℃を下回り、かつ室内温度20℃、室内湿度50%RH（露点温度9.3℃）の環境下では本体から結露水が滴下することがあり、使用できません。

取付け前のお願い　つづき

- 高温(40℃以上)になる場所・浴室など湿度が高い場所では使用できません。
- 直接炎があたるおそれがある場所では使用できません。
- フィルターのメンテナンスのできる場所に取付けてください。
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上はなれた場所に取付けてください。
- 外気(冷気)侵入や雨水浸入、虫侵入の影響のない場所を選んでください。
- 外気の取入れは燃焼ガスを吸込まない、積雪で埋もれたりしない場所を選んでください。
- 屋外(外気)の環境によっては、壁(天井)を汚すことがあります。また、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側においては外灯などから離れた場所を選んで取付けてください。

各部のなまえと外形寸法図



適用パイプ

- 小口径ダクトφ50㎜
  (システム部材)
  P-05D(断熱なし)
  P-05DS(断熱あり)

取付可能場所

- 天井、壁

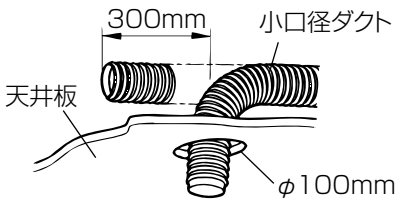
取付可能板厚

- 5～25㎜
  (取付金具で取付けられない場合
  木ネジで固定してください)

取付方法

お願い	開梱時、風量調節板は全開の状態です。必要給気量に合わせて開口面積を調節して使用してください

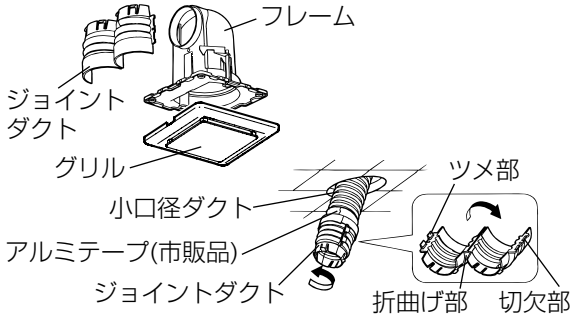
1



小口径ダクトの配管

1. 小口径ダクトを取付位置まで配管し、取付位置より300㎜程長くして切断する。
2. 天井板を張り、取付位置にφ100㎜の穴を開け、小口径ダクトを引き出す。

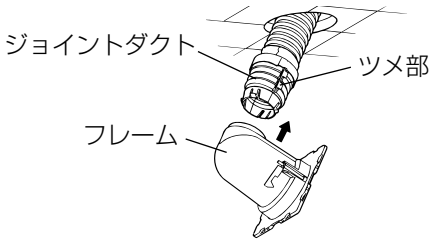
2



小口径ダクトの接続

1. ジョイントダクトの折曲げ部を折り曲げ、ツメ部を切欠部にはめ込む。
2. ジョイントダクトを小口径ダクトの先端にはめ込み、ジョイントダクトを図のように時計と反対方向に回し確実にねじ込む。
3. 小口径ダクトとジョイントダクトの合わせ部全周をアルミテープで風漏れのないよう確実に巻き付ける。

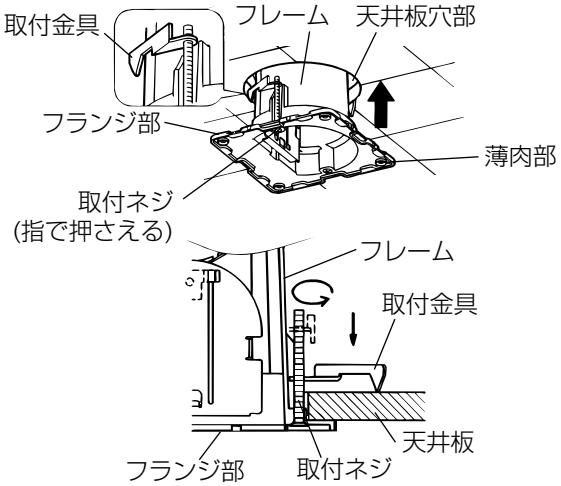
3



ジョイントダクトとフレームの接続

図のようにジョイントダクトのツメ部をフレームに対して横向きになるようにしてフレームの接続口に差し込む。

4



取付金具による取付け

1.取付金具を図の位置にしたままフランジ部の取付ネジを指で押さえながら、フレームを天井穴部に差し込む。

- 取付ネジが下にさがると取付金具の位置がずれて天井板穴部に差し込めなくなります。
  必ず取付ネジを指で押さえてください。

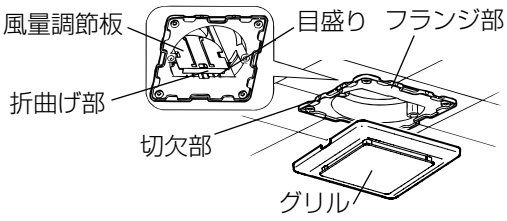
2.フランジ部の取付ネジ(2本)を締め付けると図のように取付金具が下に移動し、フレームが天井板に確実に取付けられます。

木ネジによる取付け

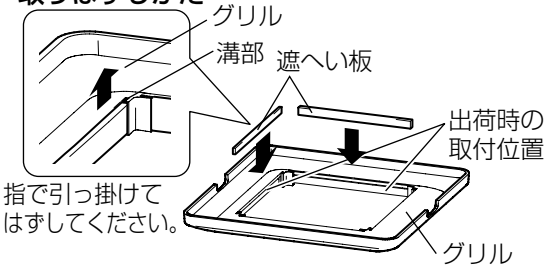
フランジ部の薄肉部(4か所)を市販の木ネジ(4本)にて締め付け固定する。

- 石こうボードに固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して取付けてください。

5



取りはずしかた



グリルの取付け

グリルをお好みの風方向に合わせ、グリルの手掛部をフランジ部の切欠部に合わせてはめ込む。

風量の調節

- 開梱時、風量調節板は全開の状態です。フレームの内側の目盛りを目安に、手またはラジオペンチ等で風量調節板を移動させ折曲げ部の位置で開口面積を決めます。

吹出し方向の選択

- グリルの取付方向は90°または180°とすることで吹出方向を選ぶことができます。
- グリルの遮へい板の取付方向を変えることで吹出し方向の選択ができます。
- 遮へい板着脱はグリルの溝部にはめ込みます。(強く折曲げないようにしてください)

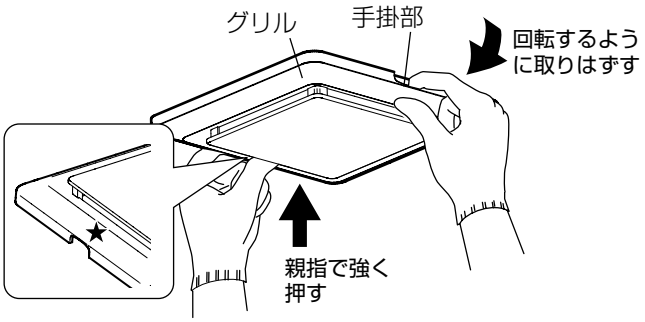
お手入れ

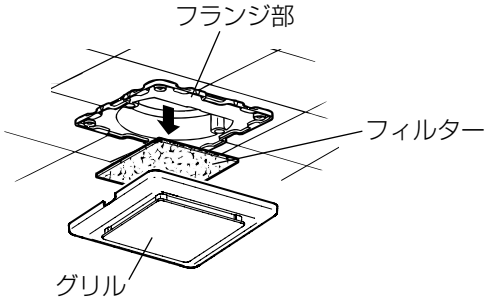
グリル吸込口やフィルターにほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約3か月に1度を目安として清掃してください。製品の吹出し方向の機能上、壁を汚す場合がありますので、壁の清掃も同時に行うことをおすすめします。

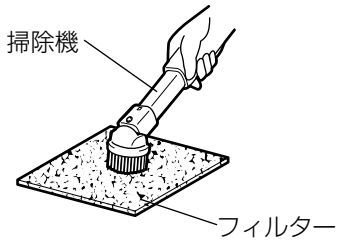
■お手入れの際には足元が不安定な状態でグリルの脱着を行わないでください。

⚠注意

- **お手入れの際は必ず接続されている換気扇の運転を停止してから行う**
  （運転状態ではけがをすることがあります）
- **グリルの取付けは確実に行う**（落下によりけがをするおそれがあります）
- **お手入れの際は、手袋を着用する**（着用しないとけがをすることがあります）
- **グリルの取付け・取りはずしは両手を使いますので、転倒しないよう安定した姿勢で作業してください**







1.グリルをはずす。

①左図の★印位置（製品には表示していません）を左手親指で強く押します。

②左手で押しながら反対側の手掛部に右手人差し指を掛け、右手親指をグリル表面にあてがい、つまんだ状態で矢印のように回転させながら下側に引きます。

2.グリルからフィルターを取りはずす。

3.フィルターの清掃をする。

- 軽く手でたたくかまたは掃除機でほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯(40 ℃以下)に中性洗剤を溶かしてすすぎ洗いをし、よく乾かす。

お願い

- **もみ洗いは絶対におやめください。**
- **熱湯で洗ったり、直接火にあてて乾かしたり、ドライヤーなどで温風をあてて乾かすことは絶対にしないでください。**

4.グリルの清掃をする。

- ぬるま湯(40℃以下)に浸した布をかたくしぼってふく。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。

5.フィルターをグリルとフランジ部の間にはさんで、グリルを元通り取付ける。

お願い

- フィルターを入れ忘れると壁や天井が汚れる原因になりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ溶剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入の洗剤 (変質・変色する原因になります)

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。